

職場での安全と健康のための 世界デー World Day for Safety and Health at Work

世界では、仕事による事故や病気で毎年220万人もの人が亡くなっています。もともと世界労働組合運動で事故や病気で亡くなった人々のために祈る日とされていた4月28日を、国際的な記念日とすることが国際労働機関（ILO）によって決められました。

労働災害

労働者が、仕事または通勤中にケガや病気、障害、死亡することを**労働災害（労災）**といいます。

例えば…、機械を使っていて怪我をした
残業が続いて疲れがたまり、脳出血で倒れた など



労災の原因、4 M !

労働災害が起こりやすくなる原因は、主に4つあると言われています。

Man（人） …… 考え事・疲労や睡眠不足・人間関係 など

Machine（機械） …… 設計の問題・危険防止不足・点検不足 など

Medea（環境） …… 作業方法の誤り・作業環境が悪い など

Management（管理） …… 健康管理不足・訓練不足 など



発展に労災は不可欠？！



(出典 <http://www.fashionsnap.com/the-posts/2015-04-24/bangladesh-sc-2year/>)

左の写真に見覚えはありますか？

2013年に起きた **Bangladesh** のラナプラザビル崩壊事故の様子です。**安い服を安い賃金で大量に作るために、安全基準を満たさないこのビルで仕事をしていた1127人が亡くなりました。**

これは外国の話だけではありません。日本もかつて**高度経済成長**の時代には、毎年4~5000人が亡くなっていたといえます。

労働者の事故と発展、優先すべきなのはどちらでしょうか？

もっと国際デー！

関連情報を調べてアクションをおこしてみよう！

- ・自分が興味のある仕事の労働災害例を調べてみよう。
- ・自分が興味のある国の労働災害率を調べよう。

FTCJはあなたの好きなこと・特技を活かした国際協力をおすすめしています。あなただからこそできる国際協力を一緒に探しませんか？全国のメンバーが様々なアクションを起こしています。アクションのヒントはコチラで検索！

FTCJ 活動ヒント

Together, We Can CHANGE the World
はじめてみよう！あなたにできること。

